へ13
4402
2

N3
4402
2

〈2016-193〉

仏物語中

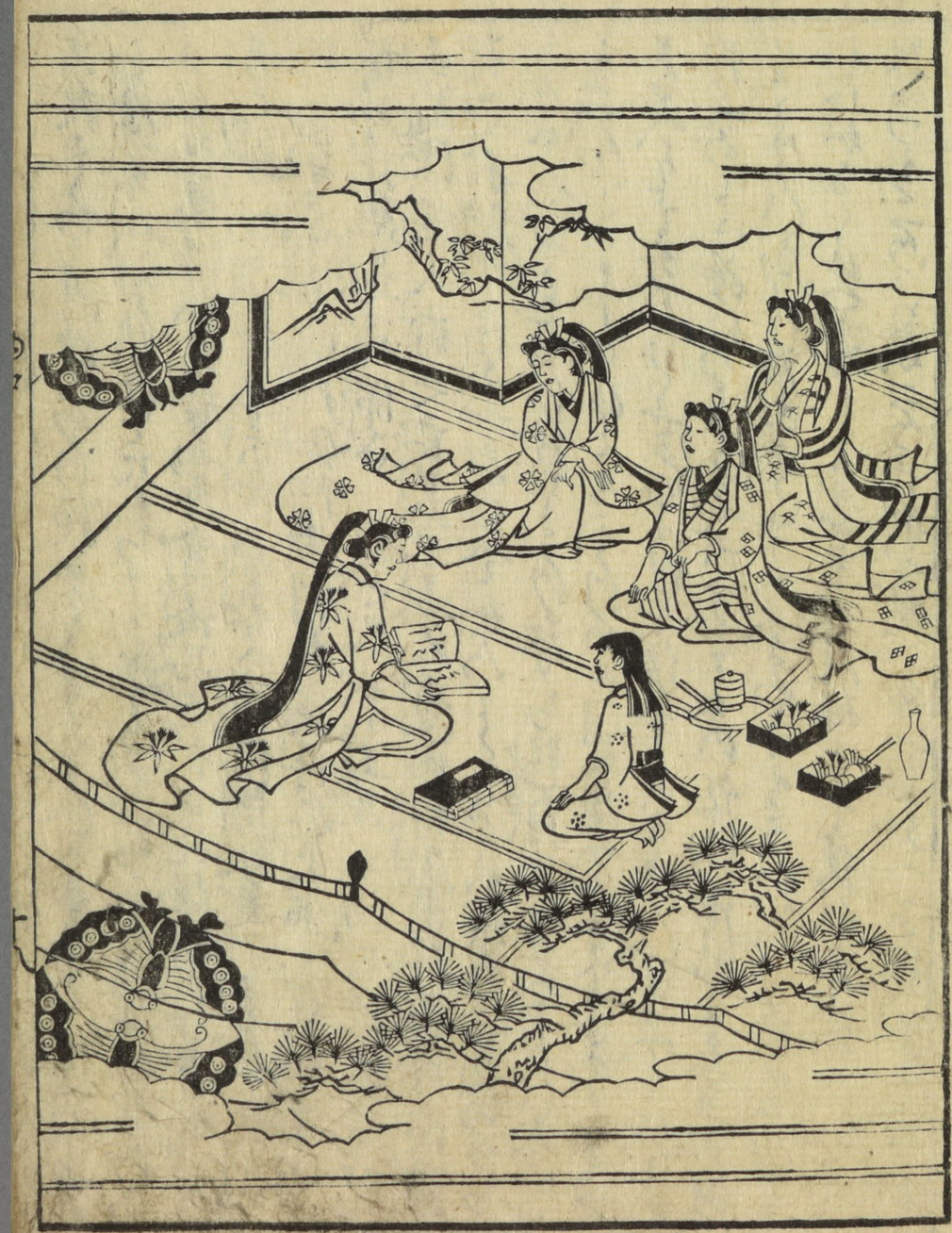
[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゆゑに経をとくなり。されば経をとくに、是経時、華提希五百の侍女、同佛の所に詣ずる時、
即見釋迦牟尼世尊、及二菩薩心生歓喜、未曾有也、廓然大悟、無生忍を得、五百の侍女、発阿耨多羅三
藐三菩提心、なり。されば三部経をよみ、法華経をよむ、成佛とは、是なり。▲善云、華提希は、
彼南方世界の人なり。一国の主なり。その妻なり。その妻、一国の主なり。その妻、
人間の女なり。一生不善なり。されども、いかにして、仏を見たてまつる。
ゆゑに、観経南方の人なりと、知るべし。されば、経を、とかせたまふ。
あるいは、如来、ようやく、いけるかたちを、あらはして、
実のごとくに出でたまふ。十號紀数、法華三部経の中
に、華提希、ごとの十號紀あり。紀数、
れば、実の員、ひとしくなり。皆、
にあらずして、成佛とは、
なり。むつまじくして、大海の一滴なり。

光とは、さいはひなり。光明如来、光明如来、光明如来、
ごとく相、如来、かせんえんは、閻浮那挺金光如来、りくしんは、
多摩羅跋栴檀香佛、ふるは、法明如来、あるは、広海恵
自在通王如来、らごは、編七寶花如来、情陳如来、
七百人は、善明如来、ぎは、無量覚の三ゑは、寶相如来、けうは、
善見如来、ぎは、無量覚の三ゑは、寶相如来、けうは、
七百人は、善明如来、ぎは、無量覚の三ゑは、寶相如来、けうは、
は、眞実、五方光相如来、あるは、天王如来、又は、
ゑは、ちりは、法華、生れ、しかも、年八歳にして、生れ、
くごに、南方、せんは、成佛、
かけ、経をよみて、大悟は、観経、
ふるして、実のごとくに、
なれば、▲問云、なぜ、出家、
女人なり、光明、出家、
ふるの、あるは、
今時の、凡人、乃、



善男善女經下曰當來之世經道滅盡我以慈悲哀愍特
留此經止住百歲　ひとのくにあるいは法師いふ
ことをきくことをえてはたまたまのこころをもつて
ひとのために説くこれらの人は▲善云彼經
ひとびとのために説くこれらの人は如来の使なり
像法乃至の百歳　雙觀經同本異訳
之平等覚經之下曰我般涅槃去後經道留止千歳千歳後
經道滅絶在心取預皆可得度　云小阿弥陀經之大阿弥陀之下曰
我般涅槃去後經道留止百歳百歳中可覓乃伏止滅絶在
心取預皆可得度　ひとのくにあるいは法師の
乃文いはくこれらの人は如来の使なり
の經文　法花五百歳安樂行品曰於後
末世法欲滅時受持讀誦斯經典　巳上經文ひとのことばに
師説ていはく正像稍過已末法太有疑法花一乗機今正是
其時何以者安樂行品曰末世法滅時也云云　師説乃至

未法之時あり此經ハ行ぜらるべきの故なり
之の女人ハ行ぜらるべきの故なり
わしれ爲ゆへに法華四巻寶塔品之偈曰此經難持若暫持
者我即歓喜諸佛亦然如是人諸佛所歓是則勇猛是則
精進是名持戒行頭陀者則為疾得無上佛道能方來世
續持此經是真佛子　同七巻菜王品之偈曰此經者則
為閻浮提人病之良薬也若人有病得聞是經病即消滅
不老不死已上　此文如来の金言乃至一切衆生の
なり影月とをなじかるべし
うらうらひろまらせたまへ　又ならぶのかたをと
ゆるしたまへ　同云故へ　又ならぶのかたをと
ゆるしたまへ　同云故へ　又ならぶのかたをと
ゆるしたまへ　同云故へ

現の事情よりまことにいとうしるし無量寿経にのたまはく
ようとかひらにあらはしたまふ現の言ここにおいてこれ
ようとかひらにあらはしたまふ現の言ここにおいてこれ
ようとかひらにあらはしたまふ現の言ここにおいてこれ

已成佛道といふ一称南無仏とかなへる仏の小善と今法
華乃開会よりして佛乃道を説せり故に法已成仏と
説のつゝしあるこゝに法華会仏乃説者いまこゝに法
華の開会と結く縁因佛種とあるこゝ余経を
味法説とくゝわけ説に来りて獨一法界乃説とあるこゝ
たとへば法河のゝ大海よりあれ入ゝ一味とあるこゝ乃
ゝ
ゝ
ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

法花経を妙法と云三論宗を妙法と云[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

成佛せざる勢のゆえにぶちわりて法花よりまう者とみちひきまつる又
ゆゑいちおとりとなりつくるもひきまつる御親鸞聖人は三月に分と医我ん
とこのくうん宗生の法花とかんとらひまつる
法花よりまう者みちらして法花より也我等凡夫のさらと開
せんなりし親世尊法花会しまつて行ぜ
ずんと親世尊法花とたりらまつる法花と
花の髭目こるおるいの名仏
今顕してこれといつくしき
地蔵菩薩の奥義三世世尊の所
世尊の大悲大覚の法花法花
こまと仰して法花
のくりみさわらくまつ
如法の実相
来不去の仏性
乃名号の法花

[illegible]

[illegible]

[illegible]

月輪大師の教示の祖師の義外別傳不立文字以心傳心
見性成佛と云へり ▲問云教家の義のみに別に法
門あらんや 答云教家の義のみに別に法門
あり 問云何 答云 ▲答云 ただ唯識
小乘の下の小悟を何ぞ
うるとか 答云 ただ唯識
うるとか 答云 ただ唯識
の悟りうるとか 答云 ただ唯識
の悟りうるとか 答云 ただ唯識
の義外別傳不立文字以心傳心
楽のひそん 楞伽經四曰我從得道夜至涅槃夜不說一字
又緣覺經曰假令滅如標月指又大梵天王問佛決疑經
曰梵王至忉利山金剛場以金色波羅華佛告辭生經
法華經寶塔品摩訶迦葉以神力令四衆皆悉合掌
色如陀波羅華佛告言有正法眼藏涅槃妙心實相微
妙法門不立文字教外別傳分付于嘱累 ただ唯識
又云教外別傳不立文字 ▲問云教外別傳不立文字以心傳心

て唯識文とし ▲問云教外別傳
不立文字 ▲答云別傳
不立文字 ▲問云 ▲答云 ▲問云 ▲答云
ハ ▲問云教外別傳の義 ▲答云
楞伽經覺經問佛經說の言 ▲答云
楞伽經一字不說 ▲問云
一字不說定言如何佛答曰同二法故作是說二法者本住
法自性法也住法者前佛所說自性法者今
佛所說實相也 天台大師四教五味の說 ▲答云
ひ二法 ▲問云
禅と出 ▲答云
と云 ▲問云

我所説法云云如仏法者前仏所説法といふこゝろ乃
所説の法にあらずこゝろうつる所説の法にあらず
なを仏法といふこゝろ所説乃所説なるゆへに
とゝ乃ゝ先ハ経言説云云又般若経の経ハ月とゝ
指乃ゝとゝ乃ゝ文の言ハ法ゝ乃たゝの経とゝ乃ゝ
仏法なるゆゑとゝ乃ゝ説いふこゝろ法ゝ乃
とゝ乃ゝ説ハ月とゝ乃ゝ指ゝ乃ゝ説ハ月とゝ
乃ゝ指ゝ乃ゝ説ハ月とゝ乃ゝ指ゝ乃ゝ説ハ月
ゝ

しかたうとうとそのそひて文衡合してあるうつ
とたのもうとうとゆうんゆうんとなるこ
あるこ理八世相乃法ゆうあんとうとうとうとうん
ゆうとうとうと

[illegible]文の中に句句言言実相
文非文非文非文二偉即是妙理かゝる法の一句
一偈皆悉仏性云云
いろいろとあり〳〵めとゝまりて世々相とも
世々相互相理名顕然ある法性乃至法性乃
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

出ずるなり。又未来の間よりて、枝葉花菓ありて、枝葉花菓出来りて、
枝葉花菓実出来りて、全くなりぬれば、結果実枝の振舞
古文まのあたりなりとて、ものとして、ぬるものなり。
法とあるべく、一切の法は、法は未来、かなりとこの備実枝のもの
祈は、不生不滅、不来不去、無為の全体なり。祈は双照双照の法
まして、ものは、あるべきなり。ものは、なるべきなり。
双照双照の法は、あるべきなり。ものは、あるべきなり。
ものは、いとなり。ものは、生死の二法は、法は、あるべ
生死即涅槃なり。又仏未来世
にて、ものは、ものは、ものは、ものは、ものは、ものは、
ものは、実乃山行宝とは、法は、ものは、ものは、ものは、
やとて、人は、ものは、ものは、ものは、ものは、ものは、
ものは、ものは、ものは、ものは、ものは、ものは、ものは、
ものは、ものは、ものは、ものは、ものは、ものは、ものは、
ものは、ものは

るのとをして無念無相乃ちよのせのつるぬくことをたらまつる
空と申すなりてなつくしひ法華経のくもをぬくことをえ
しら我れとしたのとろ時ゆんの月よりまくうんかくい
法ゆいろもちまいそまつくしてとひやまをひまして我れと
まのさいとろ弟子ちよあくとろひろまにいたりて
空禅観念ゆくくゆのいとひもくねるうたく仏法とた
うら仏法と称ゆんゆうくうんくうくれい仏法は
付てゆ真言ゆうくゆ大乗ゆうくゆ小乗ゆうくゆ顕ゆうくゆ
あり秘密ゆうくゆ門ゆうくゆ捨ゆうくゆ
所ゆ第一は大日経第二は華厳経第三は法華経なりの絶
とたちまちは大日経とたちまちは今日乃
教主の法経ゆくと興隆那仏の法法なり拝びうゆ
なゆくゆゆくゆ法仏の本師なり本師の法法なゆ
大日経と法経とゆ今と法乃ちくゆうゆ
助ゆ成仏ゆくゆゆくゆ

8-279